

令和3(2021)年度事業計画

目 次

- I. 日韓経済人会議
- II. 日韓新産業貿易会議
- III. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）
- IV. 会員向け広報・情報サービス活動
- V. 青少年交流ファンド

2021年3月29日

一般社団法人 日韓経済協会

I. 第53回 日韓経済人会議

1. 会議開催計画の概要

本会議は1969年に初回を開催して以降、一度も途切れることなく日本と韓国の交互で開催し、本年度は第53回を韓国・ソウルで開催します。両国の外交関係は難しい状況にありますものの、経済連携の方向性と共通する課題の解決方法を未来志向で探るため、両国の経済人が議論します。

経済、人材、文化という多層的な交流を進めることにより、両国経済人の絆を深めていくと共に、日韓の産業界が成長、発展していくにおける経済連携の重要性を確認してまいります。

コロナ禍が終息し、ソウルで一堂に会しての議論を計画しますが、むずかしい場合においてもwebを活用して開催すべく準備します。

(1) 主催：日韓経済協会、日韓産業技術協力財団、韓日経済協会

(2) 日程・場所：2021年11月1日（月）～2日（火）

韓国・ソウル「ロッテホテル」

：日本側団長団の韓国政府への表敬訪問は1日午前中に予定

(3) 主要テーマ：『韓日、ともに創造する未来』

(4) 各セッション：講演者については調整中

II. 日韓新産業貿易会議

1. 会議開催計画の概要

本会議は、日韓経済人会議に先立ち、専門部会として日韓で取り上げるテーマをもとに事前に討議を深める狙いで開催しています。毎年、日韓交互で開催し、2021年度は5月にソウル、翌2022年3月に東京で開催予定です。

本会議は、日韓関係が厳しい状況にありながらも、新たな日韓の経済連携の方向性を議論し、両国経済界の交流の必要性を相互確認することを目的とします。産業、貿易

に限らず、文化、人材交流も包含する大きな日韓の経済関係を模索していきます。

2. 2021年度 第21回日韓新産業貿易会議

- (1) 日程・場所：2021年5月予定 韓国・ソウル COEX
(東京・ホテルオークラ東京とWebで結び開催)
- (2) 主要テーマ：「韓日、ともに創造する未来」

3. 2021年度 第22回日韓新産業貿易会議

- (1) 日程・場所：2022年3月予定 東京・ホテルオークラ東京
- (2) 主要テーマ：「第54回日韓経済人会議」に先立つ事前会議として、経済人会議で取り上げを予定するテーマをより具体的に掘下げて議論します。
日程及び議題は2021年度の「第53回日韓経済人会議」後に確定します。

Ⅲ. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）

1. 日韓高校生交流事業

- (1) 「日韓高校生交流キャンプ」について
 - ① 次世代の望ましい日韓関係構築を目指すため、2004年に「日韓高校生交流キャンプ」が事業化され、これまでの17年間で26回開催し、延べ2,353人の両国高校生が参加しました。
 - ② 2006年度から2年間は、本事業の趣旨に賛同いただいた会社・団体の協賛金・助成金により運営、2008年度から4年間は、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）」の一環として、(財)日韓文化交流基金からの委託事業の形態で運営しました。

2012年度は日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を基に実施、2013年度以降は日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）」が復活し、毎年の公募と審査を経て、(公財)日韓文化交流基金企画競争公募事業として、韓国産業通商資源部の支援金を併せて運営しました。なお、2015年度から日本側は参加費を徴収しています。

- ③ 2020年度からは(一財)日韓産業技術協力財団からの賛助を受け実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度は開催を見送りました。
- (2) 2021年度は、新型コロナウイルスの感染・ワクチン接種状況などを注視しながら、参加者・スタッフの安全が確保できると判断できれば、冬に開催を計画します。冬にも合宿交流会は、参加者・スタッフの安全が確保できないと判断した場合は、オンライン交流会など、代替案を検討します。

2. 日韓学生未来会議

- (1) 日韓高校生交流キャンプを起点とした更なる交流の深化と発展のため、2006年に、キャンプ参加学生が自主的にOB・OG会(日本側：JKSFF (Japan Korea Students Future Forum) /韓国側：KJSFF (Korea Japan Students Future Forum))を発足させ、2007年から本格的に交流活動を始めました。この交流活動の年間最大行事として、両国学生が日韓に関わる一つのテーマを決め、一緒に事前研究を重ね、交流会でその成果を発表し、意見交換を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に毎年開催しています。
- (2) 2020年度の「第15回 日韓学生未来会議」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年夏開催の計画を変更し、2021年2月にオンラインで開催しました。
- (3) 「第16回 日韓学生未来会議」は、新型コロナウイルスの感染・ワクチン接種状況などを注視しながら、合宿開催とオンライン開催の両方を視野に準備していく予定です。

IV. 会員向け広報・情報サービス活動

調査・広報活動について

- (1) 『協会報』(月報)の発刊と『日韓経済協会通信』(週報)のメール配信に加えて、韓国の主要な政治・経済・外交動向をリアルタイムに伝える日報も適宜メールで発信していきます。現下の日韓両国において、特に政治・外交面での関係改善に向けた課題が山積する中、提供する情報の充実を図ることは勿論、ホームページについても時宜を得た情報の掲載を心がけます。
- (2) 協会事業等の活動状況については、協会報とホームページにて関連報告を掲載していきます。

V. 青少年交流ファンド

将来の日韓両国の青少年交流を促進するために、2015年日韓国交正常化50周年事業として「日韓青少年交流ファンド」を提案し、設立しました。

本年度も引き続き、趣意書に基づきご理解いただいた企業、団体等への協賛金ご支援のお願いを拡充する予定です。

以上